

関中央ロータリークラブ

国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ



2025～2026 年度 関中央ロータリークラブ 会長テーマ

「自利利他 自らを研鑽し

社会に貢献するロータリー」

例会日：毎週木曜日 18 時 30 分

例会場：関観光ホテル 岐阜県関市池尻 91-2

会 長：吉田 和也

副会長：高井 良祐

幹 事：森 敬

会 報：古田 育則

事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1-D

TEL <0575>24-7332 FAX<0575>23-5278

前例会の記録 第 2212 回

2026 年 5 月 21 日

卓話「私のロータリー」

担 当 ニコボックス

本日のプログラム 第 2213 回例会 2026 年 5 月 28 日

「C.A 反省と次年度への提言」担 当：会長・幹事

ロータリーソング「我等の生業」斉唱・・・⑨

*会長あいさつ 吉田 和也 会長



本日のプログラムは、会長・幹事の担当で「C.A 反省と次年度への提言」です。今年度も残すところあと約 1 か月となりました。中東情勢や、熊の出没の影響で中止となった事業もございましたが、おかげさまで持ちましてそれ以外の事業は、みなさまのご協力のもと無事に行うことができました。各委員長様におかれましては、それぞれの委員の事業で存分に計画、

実行していただき、事業を達成していただきまして誠にありがとうございました。またお疲れ様でございました。何か反省点やお気づきの点などを、次年度への提言として発表していただけたら幸いです。どうか宜しくお願い申し上げます。

さて、話は変わりますが、先日 26 日の火曜日に、お聞きになられた方も見えるかと思いますが、せきしん経済クラブの講演がありましたので聞きに行ってきました。元財務省事務次官 矢野 康治氏による「わが国の財政について 不都合な真実を正視し、打開する」といった 2007 年から 2022 年まで政府の金庫番をされた方の、非常に興味深い講演でした。

少し、難しい内容の話もありましたが、日本の財政構

造は、歳出が一貫して伸び続ける一方で税収が伸び悩み、その差が「ワニの口」のように開き、借金である公債の発行で穴埋めされています。その結果として、債務の残高は、対 GDP 比で見た場合には、現在世界ワースト 1 の状況となってしまっております。その要因は、高齢化による社会保障関連費の歳出の拡大が著しい中、生産年齢の世代の減少による歳入の減少ということです。少子高齢化は確かに当然なことだと思います。

また、最近では財政赤字の解消策との触れ込みで、財政出動や歳出カットなどで財政を好転させる「楽観論」が SNS などで配信されているようですが、そのことに関しましても、矢野先生は、そのような考え方では財政は良くならないと、色々な根拠を示され説明してくださいました。

先生は今後の財政の処方箋として、現在日本は先進国の中でもっとも高齢化が進んでいる国という現状で、財政赤字の根本的な要因は、少子高齢化による生産者労働の減少と社会保障費の増大なので、寿命が延びるのに合わせて、働ける方には長く働いてもらい、税金等の負担をしてもらうことが高齢者個人、雇用主、そして社会全体にとっても有効であると説明されました。今後、人生は 115 年時代を迎えると言われ、長寿化による高齢者定義の見直しが必要と話され、20 歳から 45 年働いて 65 歳まで年金を納め、115 歳まで残りの 50 年間で次の世代の負担に頼るような現在の制度では維持できるはずはなく、人生 115 年時代になったときには、高齢者の定義を 81 歳に見直すべきだとお話になりました。

現在の政治的には実現は難しいかもしれませんがこの先の日本のことを考えると、定年の延長・廃止等や年金受給開始年齢の引き上げ等の改革は不可欠であると締めくくられました。

私は、この不摂生な生活を考えますと、80 歳まで生きられるかどうか分からないところで、このままでいくと、働いて働いて働いて、税金を納めるだけ納めて、年金を使わずに死んでいく人生なのかなと、少し寂しく思いました。

*ガバナー補佐最終訪問挨拶

喜久生明男ガバナー補佐



残り、1 ヶ月半でガバナー補佐の任務が終わりますが、中でも IM の行事は、皆様方のお陰で大成功でした。

そして、各クラブを訪問していますと、ガバナー補佐をやってどうかと聞かれますが、私は、色々なクラブを知れて

良かったと答えました。東海北陸道グループは6つありますが、私はそのクラブしか知りませんでした、それぞれのクラブの例会を見てきて経験してきたことを今後、関中央 RC にアドバイスができるのではと思いました。東海北陸道グループはどちらかというと、地味というか真面目な会をしているのですが、他の IM に参加させて頂きますと、もうどんちゃん騒ぎです。皆さんは、ロータリーを楽しんでいるなという素直な印象でした。ですから今後は、楽しいことをしないといけないなと AG になって思いました。何回も他のクラブに行きますと、顔なじみになって良かったです。また次のチャンスにはぜひどなたか手を挙げて立候補して下さい。実のなる1年となります。ありがとうございました。

*本日のプログラム 担当:会長・幹事

「C.A 反省と次年度への提言」

クラブ奉仕委員 土屋 敏幸 委員長



私の役割は、クラブ奉仕委員会の中の、会場監督です。年度初めに月の役割表を送るのですが、なかなか周知していただくのが難しいようです。欠席の連絡をあらかじめいただくことも少なかったように思います。会員数が少

ない中、今後は当番月は責任をもって対応してもらいますが、大事になってきますので、来年度の方、よろしく願います。

また、私は大学が理数系だったにもかかわらず、機械類

の扱いが苦手(要は不器用なんですが…)会場準備において、PC等の設置を皆さんにお願いばかりしていました。本当に申し訳なく思っています。今後は、PC等を扱うことがない役がまわってくるのを祈っています。それで、許して下さい。

1人5分くらい話せと言われていますが、私話すのも苦手なので、何を話しているのかもわかりません。ただ言えるのは、会員数を増やさなければ、関中央ロータリークラブが、存続できないという事です。今年度も色々な事情で退会される方はあっても、入会は今のところありません。本当に危機的状況に陥っていることは確かです。来年度も会員で会員増強に力を入れなければと思います。また、例会も皆様が楽しめるものに変えていかなければいけないと思っています。50周年をより良い年にしていきたいと思います。

職業奉仕委員会 川上 勉 副委員長



私は、職業奉仕活動について考えてみました。

職業とは、生計を維持するための継続的で分担的な、社会的に有用な活動と定義されています。奉仕とは、他人やしゃかいのために無償で行う行為や活動を指しています。そんな相反

する概念「職業」と「奉仕」を一緒にした活動は、一般社会では理解が難しいことです。

ロータリーの職業奉仕とは、職業を通じて社会に貢献し、倫理的な行動を実践することを指すとあります。…ますます理解不能に陥りますが。

具体的には、ロータリアンは「四つのテスト」を遵守し、高い即業倫理を基に保ちながら、社会に奉仕する機会として職業を高潔なものとするのが求められます。あまり難しく考えないで、月第一例会にて昭和する四つのテストがわかりやすく説明しています。

四つのテストの 1・2 職業倫理①真実かどうか②みんなに公平か 3・4 は、日々の積み重ねです。③好意と友情を深めるか④みんなのためになるかどうか は、それにあたります。また、ロータリーソング「奉仕の理想」の歌

詞…奉仕の理想に集いし友よ、御国に捧げん我らの生業と歌いますが、ロータリアンは、奉仕をやろうぜと集まるのではなく、奉仕活動を通じて学んだ奉仕の心を、職場に持ち帰り、その奉仕の心で仕事に励み、仕事を通じて世の中に貢献しようと、思想を求めようと歌っていると思います。私は、この歌詞はロータリアンの「職業奉仕」の真髄(エッセンス)が凝縮されているように思われます。

国際奉仕委員会 石原 妙生 委員長



今年度の国際奉仕の活動としては、台湾景文高校と関商工の直接交流で訪台出来たことは成果だと思います。ただ反省としては、クラブ事業であるのに会員の参加が少ないのと、初参加の会員も一人が二人参加が無かった事が残念

でした。又、次年度への提言としては、予算の問題で今のままのやり方だと費用面で厳しくなり、生徒・先生共実費での参加等、今後についてはその様なクラブの意向を学校へお伝えする必要があります。仮に直接交流が出来なくとも、ウェブによる交流も出来るので学校同士で考えて頂きたいと思っています。

社会奉仕委員会 伊佐地 司 委員長(代読 森敬幹事)

社会奉仕委員会委員長として、まずはこの一年間、皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

さて、『反省と次年度への提言』でございりますが、まず、ひとり親家庭の子ども支援事業として8月に開催しましたバーベキュー大会についてご報告いたします。多くの方にご参加いただき、アユのつかみ取りや炭火焼きを通じて、大変楽しいひとときを過ごしていただけたかと存じます。子どもたちの楽しそうな笑顔に接し、私自身にとっても非常に良い思い出となりました。この事業は大変好評でしたので、次年度もぜひ計画していただきたいと提言いたします。次に、計画しておりました子どもたちを対象とした米作り農業体験事業は、残念ながら実施に至りませんでした。しかしながら、小川さんのご協力により、支援米を配布することができ、結果として

目的を果たすことができたのは良かった点だと考えております。お米を自前で生産し配布することは、費用面および会員の皆様への負担が大きくなります。この反省を踏まえ、次年度については、お米を生産者から購入して配布する方式が現実的かつ効果的であると提言いたします。本事業は支援活動として大変有意義なものですので、継続して実施すべきだと考えます。

一方で、その他の事業計画に掲げた、地域の奉仕活動に関係団体と連携して支援活動を行うという点については、具体的な活動を実施できずに終わってしまい、反省しております。

私の反省点が、次年度の活動に少しでも活かされることを心より願っております。

新世代奉仕委員会 古田 博文 委員長

(代読 森敬幹事)

3月6日の担当例会にて、当委員会の反省らしきスピーチをさせていただきました。改めて申し上げたいと存じます。反省の第一は関商インターアクト(IAC)クラブのあり方についてであります。その時の会報を見ていただければ、その歴史と今までのなりゆきがわかると思いますので、詳しいことは省きます。昨年の伊勢でのインターアクト電磁大会は、やはり参加を見送るべきだったと思います。会員、学生、先生共高額な登録料であり、交通費等を合わせると、50万円近くの事業費となりました。委員長としては、今回は不参加を表明し、この事業費を台湾交流の一部にあてはめては？と提言しましたが、継続して行ってきた事業であること。また今後の飛騨・中濃・東濃インターアクト協議会ホスト役を考えると、やむを得ず大会に参加させて頂きました。しかしながら、本当に生徒さん達が喜んで参加しているのか？また、個人的には、顧問教師の先生方にも、インターアクト活動に対する考え方に疑問を持たずにはられません。とにかく、今までやってきた事業だから。という事で継続するには、見直しが必要です。12月には、飛騨・中濃・東濃インターアクト協議会を関中央 RC と関商工インターアクトクラブがホスト役を務めますが、これが終わりましたら、この事業、インターアクトクラブのホストはもうやめましょう。

関中央 RC 吉田 和也 会長



この度、関中央ロータリークラブ第49期の会長を、会員みなさまのご協力のもと、もうすぐ無事に一年務めさせていただくことができそうです。本当にありがとうございました。感謝申し上げます。今年度は当クラブから喜久生先生にガバナー

補佐を就任していただきました。まだ1か月任期が残っておりますが、本当にお疲れ様でございました。したがってホストクラブとして、IM の開催、また通年事業、隔年の台湾との交流事業など多数の事業があり、会員みなさまにおかれましても非常に忙しい1年になったと思います。そのような中でも、会員みなさまがそれぞれの持ち場でそれぞれの役割を全うしていただき、自利利他自らを研鑽し社会に貢献するロータリーのクラブテーマのもと、国際交流、青少年育成、環境保全、社会奉仕など、地域社会のみなさまにとっても喜んでいただいた良い事業ができたことに、誠に感謝申し上げます。

今年度は、こうして何とか例年通りのクラブの事業が行えましたが、みなさまご承知の通り、我がクラブの現状は刻々と変化しております。ここの所の、会員の減少によるクラブ運営費の予算の減少が著しい状況となっております。現在、歳出が歳入を大きく上回ってしまっており、ニコボックスの貯金を取り崩しながらクラブの運営を行っているのが現状です。しかしながら、このままでは、いずれニコボックスのお金も底をつきクラブ運営が成り立たない状況となってしまいます。したがって、次年度からは、今までと同じ事業ができない状況となっております。そのことを踏まえまして、今月の理事会で話し合ったところ、次年度の方針として、例会を月2回とし、今まで行ってきた事業に関しましても、中止や予算の縮小をする、会費を少し増額させていただくということで結論を出させていただきました。詳細につきましては、この後、大藪次期幹事から説明をさせていただきますが、どうかみなさま、この先、関中央ロータリークラブが健全なクラブ運営をし、会員みなさまが楽しんでロータリー活動をするのに、必要不可欠なこと

と、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。はなはだ恐縮ではございますが、今年度会長としての、次年度の提言とさせていただきますと思います。

***出席委員会**

会員数 26 名、本日の出席 14 名です。

***ニコボックス委員会**

15 ポイントのご投函ありがとうございました。

***その他の委員会報告**

***幹事報告**

<次例会の案内>

第 2214 回 6 月 7 日 (日)

長良川環境保全例会 クマ出沒のため中止

第 2215 階 6 月 11 日 (木)

創立記念オープン例会

担当:会長・幹事・親睦活動